

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自の理念はある。地域を意識したものには至っていない。	○	「その人らしく」ということを深く考えてみたい。現場の声をまとめて、形にしたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は、自分の言葉で相手に伝える事がなかなかうまくいかないと感じている。スタッフもなかなか聞けないと感じている。	○	管理者はよく考えて発言すれば理念や思いが説明できる。日々スタッフとのコミュニケーションを積極的にとるようにする。管理者中心に、スタッフどおし良い点を認め合い、チームで課題に向き合っていきたい。管理者が入居者さんスタッフの把握ができるように日勤帯に勤務できるようシフト調整をしたところ。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。その際話題になるよう努めている。参加者が少ないのが悩みである。	○	引き続き運営推進会議で話題として取上げたり、認知症サポーター養成講座をきっかけに交流や話をする場を持ちたい。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	立地的に住宅地や商店街から離れているので難しい。気軽に寄っていただけよう努めている。入り口が分かりにくいとご意見があったので表札をつけてもらった。隣の工場の人や公園の人とはあいさつ程度の付き合いをしている。道を聞かれることが時々ある。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議でのお付き合いがほとんどの状態。地域のお知らせはいただける。地域の盆踊り等参加したいが、トイレや駐車スペースの課題があり実現に至っていない。運営者と介護支援専門員が年2回程度の草取りに参加している。	○	積極的に参加できるようにしたい。具体的な方法を工夫する必要がある。

岐阜県 グループホーム ファミリー (2号館)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	引き続き運営推進会議や認知症サポーター養成講座を通じて、具体的に何ができるか相談していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	引き続き、やらされ感や事務処理的にならず、自分たちの振り返りや提案の機会であることを周知していきたい。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	報告は分かりやすくする。皆さんに相談したい内容をポイントが分かる様に伝える。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	引き続きおじゃまする。情報交換にとどまらず、具体的な動きにつながるようにしていきたい。市主催の勉強会に積極的に参加する。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	今回入居者さんのお1人が家族主導で成年後見人の申し立てをされている。これを機会に、勉強会をしてはどうか。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	今回できた法令について、ミーティングで確認できると良いと思う。

岐阜県 グループホーム ファミリー (2号館)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の問い合わせや申し込みの時点から説明するよう心がけている。入居当日にも説明している。その他不安や疑問があった場合は、その都度電話等でも対応している。分かりやすく伝えることができているかはホームとして点検が必要と感じている。	○	ただ説明するだけでなく、分かりやすくかつ安心いただけるように伝えられるようにしたい。説明に関わる者で1度確認したい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム玄関に苦情受付や苦担当者を明記し掲示している。苦情箱設置している。不満や苦情を我侬ととらえないよう気をつけてきた。苦情については速やかに改善し、その内容はご本人家族に報告するよう努めている。苦情対応の第3者委員さんもお願している。	○	苦情等良いやすいホームの雰囲気やスタッフの対応を目指す。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	特に体調の変化やケガの発生時には速やかに連絡するよう努めている。連絡する者が複数のため、先方が混乱することあった。また管理者がシフト上、日勤帯に不在のことがあり、連絡が遅れることがあった。	○	シフト調整で、管理者が日勤帯に勤務の時間を増やした。窓口は管理者に集中したい。また心配な時は、特に何もなくても連絡する。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームや法人だけでなく、苦情受付第3者委員の設置もお知らせしている。家族から介護員へ苦情があり、運営者も加わり手当したが、結果多くの者が関わり家族に不快な思いをさせたことがあった。ホーム内で再度話し合った。	○	どのスタッフも家族他から気軽に苦情や要望等言っただけの関係を作る。報告を受けた管理者や運営者は、スタッフの報告の内容の評価をするのではなく、ホームのケアの質の向上と前向きにとらえる。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の全体会議やミーティングで、どんな立場の者も意見を述べたり提案できるようになった。が、トップダウンの事がまだまだ多く、結果的に上の指示に従わざるおえないと感じる場面もある。	○	運営者、管理者、スタッフは、問題や課題の結果の良し悪しや評価にとらわれすぎず、解決や改善する目的に向かって共に考えられる組織を目指したい。スタッフの意見を真剣に聞いて欲しい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	運営者が主に決めている。当ユニットだけにとどまらず、法人内の従業員のフォローもいただけるのでありがたい。が、現場が知らないうちだったり、現場の事情確認ない手当てだったりし、入居者さんやスタッフが混乱する時がある。	○	運営者だけでなく、管理者中心に、現場の実情や提案を聞いた上で確認くださるようお願いしたい。

岐阜県 グループホーム ファミリー (2号館)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>現場や管理者は、入居者さんが不穏不安になること、場合によってはADL低下の懸念をしている。運営者は極力手当てくださっているが、スタッフの人数の関係もあり完全には手当ては困難である。現場と運営者の間に温度差も感じる。</p>	○	<p>引き続き、現場から実情を伝えていきたい。</p>
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>認知症に関わる運営者で指定した研修は勤務として参加できるようにしている。が、現場としては研修機会が少ないと感じている。参加は、管理者や介護支援専門員が多いのが実情。また計画しては行っていない。管理者は、勉強した内容を伝えたいが、自分がその人と信頼関係がないと受け入れてもらえないと感じている。</p>	○	<p>外部研修については、認知症の研修を計画的に進めてほしい。1部の者でなく順番に参加できるようにする。働きながらのトレーニングについては、チームがようやくできてきたところ。お互いを高めあえるコミュニケーションを目指したい。</p>
<p>20</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者、介護支援専門員が参加し、内容を現場に伝えている。文書だけではなかなか伝えきれないと感じている。主に県のGH協議会参加が多く、昨年度は若いスタッフさんの研修や経験を兼ねて、事例発表をさせていただいた。</p>	○	<p>現場のスタッフも参加できるように検討する。支部会にて相互のホーム訪問の提案が出ている。実現できるよう当ホームも協力し、現場のスタッフも参加できるようにしたい。</p>
<p>21</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>昨年はユニットごとの慰安旅行が実施した。また法人でホテル会員になり、従業員が家族や友人と宿泊できるようになった。運営者の姿勢は感じるがなかなか現場に通じないこともある。ストレスは各自で原因が違ったり、負可の感じ方も違うことを理解し助言してほしい。</p>	○	<p>運営者の姿勢は大変ありがたい。福利厚生も大事だが、常日頃の中で、結果の○×のみにこだわらず、経過も評価してほしい。共に考える関係にしていきたい。</p>
<p>22</p> <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営者は、各自の勤務状態の把握に努めている。何か課題や問題が発生した時の指摘や把握は速やかにされている。</p>	○	<p>指摘や注意と合わせて、意欲を持ち続けるために、日常的な頑張りを言動で認めたり、各自に任せることも大事にしてほしい。指摘や注意ばかりでは、心身とも疲労が溜まってしまうので。</p>

岐阜県 グループホーム ファミリー (2号館)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	毎回時間の許す限り努力している。実際は緊急の相談が多く、今すぐ住む場所が必要等もあり、とりあえずサービス提供を開始し、その後相談になる場合もある。	○ 事前の情報を元に、居室のレイアウト等生活空間の工夫にも役立てていきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	毎回時間の許す限り努力している。緊急の場合はまずは安心いただけるよう配慮している。また直接の面談以外でも電話等でも対応している。それでも行き違いが発生したことがある。	○ 事前の情報を元に、居室のレイアウト等ご本人の生活空間の工夫にも役立てていきたい。また、相談窓口を明確にする必要性を感じている。担当者が不在の場合の手当ての周知もしたい。管理者が日勤帯の勤務になるようシフトの調整を実施した。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	極力努力している。初回面接した者の意見、現場の意見、運営者の意見のすり合わせが難しい。	○ どの立場の者ともお互い意見が出しやすく、総合的な話し合いができるようにしたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	お試しの利用ができる。事前に現場に関わる情報を伝え、ご本人家族に安心いただけるよう努力している。緊急のケースが多く、時間をかけられない場合もある。また運営上の理由から困難な場合もある。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者さんは人生の先輩であり、逆に学ぶべきこともたくさんあると感じている。ご本人ができることは極力やっていただくようにしている。場合によっては、つついとお世話してしまうこともまだある。	○ 介護計画書に具体的に盛り込み、実施できるようにしていきたい。日頃の現場やミーティングでも情報を共有し、感情豊かにあんに物が言えるようなホームにしていきたい。

岐阜県 グループホーム ファミリー (2号館)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族との交流はまだ不足と感じている。ご本人が混乱しご家族もボロボロの状態でごホームにみえる方もある。そういう場合は、まずはご本人が安全に生活できることを優先すると共に、ご家族には休んでいただくよう努力している。	○	日常の電話での連絡、面会時、運営推進会議、介護計画書確認時に、ご家族も気兼ねなく本音が言えるような関係作りをしていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	努力している。が、長年の関係の悪化の場合は修復は大変難しい。ご本人が、落ち着いて穏やかに過ごされるようになれば、ご家族の多くも穏やかになれる。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	1部分はなんとか実現している。が、様々な事情や認知様の症状により、馴染みの場所ですでにトラブルを起こしていたり、よかれと思い訪問したがご本人が逆に不穏になった場合もある。また知った所は行きたくないという方もみえる。人それぞれで難しいと感じている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居さんの顔ぶれが変わったことで以前よりも共に生活する仲間、馴染みの人として関わる場面が増えている。またスタッフの関わりで笑顔が増えた入居さんが他の入居さんとのトラブルも減っている。が、ADLや認知症の進行の差から、困難なこともある。	○	一緒に何かする（買い物、ドライブ、レクレーション等）をきっかけに関わりやお互いを気にかける関係作りをしていきたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	可能な限り努力している。在宅でケアマネージャーさんがいる方は、ケアマネージャーさんにお声をかけ必要に応じて様子を伺うようにしている。ホーム退居後系列のケアマネが担当となり、亡くなるまでの間、できる範囲で情報提供等させていただいた。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々努めている。本人の馴染みの新聞を個別に取る、習慣であった毎朝の牛乳を飲むことの継続の支援をした。が、どこまで応じてどこからはどうするか、いつも難しさを感じる。また、その人だけになると他の入居者さんに実現できない場合はどう配慮するか等、1つ1つ違うのでその都度相談になる。	○	ご本人の好きな様にするだけでは逆に心身機能が低下する場合もある。ご本人の思いに共感した上で、今1番ベターな方法は何か検討するようしていきたい。実現できた時は共に喜び労い、実現できなかった場でもお互いの思いが伝わるようにしたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々努力している。介護支援専門員がしっかり加わるようになってから改善してきている。初回面接では全部の情報は分からない。ご一緒することでみえてくる。そうした情報も、スタッフ間で周知したり、ケアで活かすことはまだ不足していると感じる。	○	初回作成の書類の情報で全てと思いたまえないようにしたい。日々の中やモニタリング時に新たに得た情報は、モニタリングシートや基本情報シートに盛り込み、ミーティングや回覧で周知できるようにしていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ほぼ実施できている。個人記録等に記入しスタッフ全員で把握するようにしている。懸念事項が発生した場合の周知が遅れることが時々あった。チームワーク力、個々の気づきの力の不足、管理者日勤帯の勤務の少なさ、スタッフの顔ぶれの多さが要因と感じていた。	○	定期的なミーティングでの確認やチームでお互いに頑張りを認め合う関係作りを開始した。シフトの修正により、管理者の日勤帯の勤務を増やし、スタッフの顔ぶれの固定をはかった。出勤時の申し送りを習慣化する。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	計画作成担当者が、関係者の意見を取りまとめて作成している。どの人もありきたりで同じ文言にならないよう気をつけている。本来は、関係者全員が会して確認するといいが、なかなか実現は難しい。伺った意見は速やかに介護計画書に盛り込むようにしている。	○	主治医の先生や看護師にも介護計画書を届けることを習慣にしたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	計画作成担当者が概ね実施できている。骨折した方で計画を大幅に変更後、状態に合わせて見直し時期前に再度大幅に変更した。また、ご本人の思いや言葉はできるだけそのまま計画に盛り込むようにしている。	○	スタッフ全員で見直しする提案をしている。検討はしたが具体的な動きには至っていないので、ぜひすすめたい。

岐阜県. グループホーム ファミリー (2号館)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	看護師の助言で記録用紙の改善をしたり意見をいただけるようになって、正確さや見易さが増した。個々での記録の確認やお互いの口頭での確認、ミーティングや文書での周知により随分改善してきた。記録がそのままモニタリングに移行し介護計画に大変活かされてきている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	思いはあるがなかなか難しい。安全の確保は万全か、人員の確保やその際の勤務はどうするか。運営者の許可もいる。数年前に末期癌の入居者さんと娘さんの旅行にスタッフが同行し援助したことがある。系列法人との交流はし易い環境でありがたい。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	難しいと感じている。年に1回来てくださる演芸ボランティアさんは定着してきた。また、管理者の知人が琴の演奏に来てくださった。スタッフの関係者が理容にきてくださる。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	要望があれば極力応援したい思いはある。今のところそういうケースはまだない。実現する場合は、具体的にその時を誰が援助するのか、かかる費用はそうするか等課題もある。(例えば介護ベットはサービス事業所はあっても実費購入か実費レンタルになるので個人負担が大きくなる。)		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	ホームから先方に訪問したり運営推進会議に参加いただいている。包括さんから紹介いただき入居された方(元は独居)については継続して相談に乗っていただき、先日は面会に来てくださった。今後も要請があれば来てくださるとのこと。ありがたい。		

岐阜県 グループホーム ファミリー (2号館)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	<p>家族によっては、認知症の事実の受け入れや精神科受診や受薬について強い拒否や悲しみを感じられる。それも当然の感情と受け止めながら、適切な処置を受けるために協働で対応できるようにしていきたい。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	<p>引き続き、各自の専門性を大事にしながら、その方にとって何が大事なのかを職域を越えて協働できる関係作りをしていきたい。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>ホームの方針を維持し活かすためにも、スタッフのスキルアップも必要。随時研修や勉強会に参加したい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>ホームの方針を維持し活かすためにも、スタッフのスキルアップも必要。随時研修や勉強会に参加したい。</p>

岐阜県 グループホーム ファミリー (2号館)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>49</p> <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>移る先の担当者さんに、直接及び文書で情報の提供を行なうよう努めている。移られた以降も問い合わせに対応するようにしている。退居し在宅生活になる前に、ホームにて本人家族、在宅のケアマネさん、デイ責任者さん、ホームにて会議を行った。こまごましたことも伝達できた。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50</p> <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>日常的に気をつけている。必要に応じて、管理者や運営者から指摘している。よかれと思ってやったことがご本人を不快にさせてしまうこともある。個人ファイルは見えないように保管。</p>	○	<p>スタッフお互いが注意できるようにする。ミーティング時、結果の評価だけでなくお互いの向上のための話し合いをする。認知症は日常生活の障害のため、失敗してしまうことを理解し、スタッフのさりげない支援で失敗を目立たなくすることがケアと周知する。</p>
<p>51</p> <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>常日頃、あんきに言っていただけよう心がけている。スタッフ側の思い込みで思いの表現と気が付かなかつたり、わがままと感じる場面がまだたまにある。ご本人が決めたり話し合っ進めることが楽しいことをスタッフも感じはじめています。</p>	○	<p>買い物へ行きたい要望をかなえるために、週末交代でホームのおやつ購入買い物を開始した。役割を持っていただく、気分転換に加え、出かけるその人の外出や買い物の個人の要望にも答えられるようにしたい。</p>
<p>52</p> <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>がちがちの日課にせず、その方の希望や体調、天候によって変更できるように配慮している。それでもまだ不十分な面も感じている。が、人員の配置等によりいつでも希望に添える訳ではないので難しさも感じる。</p>	○	<p>変更があった際、スタッフ、管理者、運営者は、結果そのものの評価をするのではなく、経過も確認するようにしてほしい。これが絶対正しいと思いつい込むと上手くいかなくなるので、いつもさらな視点で考えるようにしたい。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53</p> <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>衣類初め身の周りの多くの者は、家族やスタッフがよかれと思って準備することが多い。入浴後、化粧水等すすめると、皆さんやっぱり女の方と思う場面もある。理容はボランティアさんに依頼する。時々市井の理容店、美容院に行かれる方を支援している。</p>	○	<p>当たり前のようにスタッフが援助していることもご本人に聞いてから動くようにしていきたい。結果にこだわらず、選ぶ過程を一緒に楽しむ。買い物機会を設定したので、ホームの役割にとどまらず、私物の購入機会にもしていきたい。理美容機会を増やしたい。</p>

岐阜県 グループホーム ファミリー (2号館)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>スタッフが一緒に食事をするかどうかはずっと課題である。休憩時間（家族の世話のため帰宅するスタッフもいる）の確保やせまいので同じテーブルにつけない等課題あり。共に食事をとることの大切さを感じているスタッフもいる。1度ミーティングで話し合ってみたい。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>9月から週末に交代でホームのおやつ購入に出かけることを開始した。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>スタッフの思いや考えを大事にしつつ、入居者さん自身の思いを尊重してケアできるようにしていきたい。</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>どのスタッフも安全に入浴介助ができるようにする。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	<p>具体的内容を介護計画書に盛り込んでいく。就寝薬についてはその都度、ご本人の睡眠等の状態を医師に報告し、必要に応じて家族とも相談しながら使用したい。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>スタッフは入居者さんと一緒にすすめるようにしていく。運営者から、各部所のみでなく法人全体でのレクの充実の提案あり。（デイはレクが得意なので相互で協力を。）</p>

岐阜県 グループホーム ファミリー (2号館)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	今はほとんどの方が個人でお金の管理はしていない。安全安心な管理に不安があるため。個別に相談に乗り、できる範囲で対応している。必要な時は、ホーム経費から支払っていただき後で請求している。ホーム分買い物時入居者さんに支払っていただいたが時間がかかりかかった。レジの方は笑顔で対応くださった。	○	スタッフ側があきらめてしまわずに、できることからやってみよう。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	可能な限り玄関先でのひなたぼっこ、近隣への散歩を行なっている。立地上車がないと商店等に出かけられないので苦慮している。	○	どの方も1日1回は外の空気に触れるよう引き続き努める。9月から週末におやつ購入外出を交代で開始している。その方の希望にからめて活かしていきたい。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	週末中心にドライブ実施を心かけている。季節の景色も楽しめるよう配慮している。5月の花フェスタ記念公園に外出したが、入居者さんもスタッフも来年もまた行きたいと話している。数年前に末期癌の方が娘さんと温泉旅行する際に支援のため同行した。今はスタッフ個々での思いにバラツキがある。	○	しばらくの間なかなか外出ができなかった。(身体や認知症の重度の入居者さん対応の優先、スタッフの交代等)9月から週末の買い物外出を開始。これにより入居者さんスタッフも外出に慣れ、順次外出の内容や行き先を膨らませていきたい。内容を介護計画書にも盛り込んでいきたい。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	出来る限りご本人の要望に応えたい。先日入居された方が今までの施設にの方々にお礼の手紙を書きたいとの事で援助した。電話は耳が聞こえない、手紙は字が上手く書けないので自身がないとおっしゃる方もいる。また認知症の症状で、時間問わずや繰り返し、先方の気分を害してしまうような電話の支援の希望の場合、難しさを感じる。	○	ぬりえをする事で鉛筆を持つ機会が増えている。今年は皆さんで年賀状を作ってはどうか。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	常日頃、あんぎに来ていただけるよう心かけている。居室でくつろいでいただけるようお茶やお菓子を提供している。入居さんの中には家族が来て家族のことが分からない方もみえる。声かけにとまどう。また、家族の知らない中で友人と外出するケースがあり家族と相談をした。キーパー以外の方との交流は難しさを感じる時がある。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	以前に、管理者、介護支援専門員が研修を受け、文書にて資料等掲示した。直接受講した者は、環境整備やケアの工夫で対応したいと思っている。先日の集団指導にて運営者も聞いてきている。	○	ミーティングや会議、内部の研修開催等で、全スタッフでの正しい理解の周知を図りたい。

岐阜県 グループホーム ファミリー (2号館)

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	開所当初からホームの方針として鍵をかけないケアをしてきた。玄関のセンサーチャイムで人の出入りの確認をしている(夜間の防犯での施錠実施)施錠による弊害については、具体的には運営者の1部、管理者、介護支援専門員、1部介護員の理解にとどまっている。	○	ミーティングや会議、内部の研修で、運営者も含めた話し合い、確認をすると思う。
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常日頃心がけている。が、安全確保の見守り等については、スタッフどおしの連携の不足や連携ないまま持ち場を離れる場面がまだある。玄関前のトイレにて介助する際、ドアを開けたまま済ませる事もまだある。(他の方の気配を把握するために完全に締め切れない場合もある)	○	チームでのケアであることを周知し動くようにしたい。個々のスタッフの危険予見の訓練ができるといい。玄関前のトイレに扉だけでなくのれんも設置してはどうか。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ご本人のやりたいことがすぐできるための保管、生活の臭いのする空間のための保管、危険回避のための厳重な管理、それぞれとのすり合わせが難しい。その時々の入居者さんの状態にも左右される。一応、必要な時に見守りしながらお貸しすることが多い。	○	運営推進会議で家族や地域の方の意見も聞いてみる。その都度相談し、その時1番いい方法を取りつつも、必要に応じてすぐに修正できるチームにしていきたい。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	管理者、介護支援専門員は勉強会に参加した。ヒヤリハットの重要性を学んだ。現場には報告が当たり前にかつあんきにさせていただけるよう働きかけている。薬については看護師の助言のもと、処方箋整備等行い分かり易くなった。誤薬防止のため1回分の薬は色で区別出来る様に工夫している。	○	ヒヤリハット、事故報告書の分析とまとめの実施。防災については法人として具体的に手当てが開始された。継続して実施するよう努める。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急蘇生の訓練は、管理者と介護支援専門員、隣のユニットで1名、看護師が済んでいる。その他のスタッフには文書で配布の状態。いざという時に不安を感じているスタッフさんもみえる。	○	運営者と協働して、特に夜勤帯に1名で入る者から訓練を順次実施していきたい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人で具体的に動き出したところ。地域との連携には至っていない。	○	引き続き訓練を継続する。災害時の準備物資についても検討しておきたい。運営推進会議で提案していく。

岐阜県 グループホーム ファミリー (2号館)


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	全員の方には十分にはできていないが必要に応じて相談している。	○	現場スタッフは日々の記録やミーティングでリスクについて考え共有する。介護支援専門員はその旨介護計画書に盛り込む。管理者が家族に直接相談する。以上を習慣にする。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日常の記録や申し送りで情報共有し対応するようにしている。管理者への報告、速やかな看護師や医師への相談についてはようやくできるようになってきた。スタッフの気付き力不足、管理者が日勤帯勤務が少ない、スタッフの入れ替わりもあった事も要因として考えられる。	○	スタッフは記録や申し送りを大事な仕事と認識し動くようになってきた。またお互い確認しあえるチームにしたいとメンバーは感じている。管理者はソフト調整し日勤帯勤務を増やしたところ。スタッフの顔ぶれも大勢にならないよう法人に提案し1部改善した。必要度の高い部分は介護計画書に盛り込む。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師の助言で処方箋を整備した。1回分ずつ小分けし色で分かる様にしている。服薬いただく時点で懸念が発生した場合は、1人で判断せず、担当者や管理者、必要に応じて医師や薬剤師に確認するよう努めている。	○	懸念が大きい方については、服薬援助の内容も介護計画書に盛り込む。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄の記録をつけている。牛乳や果物等で自然排便を心がけている。やむなく服薬の方もみえるが最近使用は減っている。入居者の多くの方が、なかなか水分を取ってくださらないので試行錯誤している。	○	現場から薬に頼らない排便について提案あり。毎朝牛乳を飲むことを開始した。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケア勉強会に1名参加（管理者介護支援専門員は以前に参加済み）。朝夕は口をすすぐ際はイジンガーゲルも活用している。見守りのみでできる方は手に届く所に必要物品を設置し、自ら行えるよう支援している。法人の提案で、食前に口腔体操の実施を開始した。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の必要に応じた量を出している。水分はなかなか取ってくださらないので苦慮している。日常的に記録し、スタッフで周知するようにしている。ご本人の拒否等の場合は、スポーツドリンクや口当たりの良いもの、栄養価の高い物、本人の好きな物を提供している。毎朝牛乳摂取の方は続けていただいている。		

岐阜県 グループホーム ファミリー (2号館)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	実施している。当法人で感染がなくても地域で発生した場合は、情報収集し事前に手当てしたり準備するようにしている。市担当課や県GH協議会からも情報がいただけるのでありがたい。	○	手洗い徹底を常に気をつけておく。時間の経過と共に対応が我流になることがある。時々初心に戻って確認するようにしたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は火を通すことを心がけている。まな板等用具は漂白剤で消毒殺菌している。担当者を決めて、賞味期限等注意し安全管理に努めている。常日頃、手洗いをする。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前にベンチを置き気軽に座れるようにしている。立地上玄関付近は斜面のため、手すり他設置した。季節感も感じられるように玄関前に花やミニトマトの栽培を開始した。入り口が分かりにくいとのことで表札を設置いただいた。玄関前の道路は週末祝日は車の行き来が多くなるので配慮している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームとしても課題としていたがご家族から汚臭改善の要請があった。法人として至急手当てさせていただくことになった。居間等には季節の花を飾るよう心がけている。散歩で摘んできた花も飾るようにしている。場所間違いが置きやすい所には目印を掲示している。	○	汚臭の改善。換気扇の設置。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	建物構造上、居間の他にゆったりとしたスペースは取れない。居室をうまく活用するようにしている。日当たりのいいお部屋の入居者の希望もあり、仲間でその部屋で過ごされることもある。		

岐阜県 グループホーム ファミリー (2号館)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時入居いただいた後ご本人の要望や家族の思いに沿っていつでも持ち込みできるようにしている。新しい物を購入される方も多いが、その場合もそれを使うことで馴染みの物になるようにと思っている。昔の写真を持ってきていただくと話ははずむのでありがたい。</p>		
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>ホームとしても課題としていたがご家族から汚臭改善の要請があった。法人として至急手当てさせていただくことになった。温度調整は、タイマー機能を使ったりこまめに調整している。共用部では、個々の希望室温に大きな差があるので、衣類での工夫もさせていただいている。</p>	○	汚臭の改善。換気扇の設置。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>浴室や廊下、居室内は、できるだけ入居者さんに合わせて手すりを設置している。安全確保をした上でできるだけ歩いていただくようにしている。スタッフだけでなくご家族も足の浮腫を心配しており、日常の中でできるだけ動いていただく他工夫しているが、まだ不十分と思われる。</p>	○	環境の整備、スタッフの見守りの中で、できるだけ自分で体を動かしていただくようにしていく。
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>自分でできることは自分でやっていただく。間違いや失敗は認知症の生活障害なので発生すること。それをできたら未然に防ぐ、または事後恥にならないように援助する。ということについて、スタッフ間や運営者と思いにばらつきがある。</p>	○	ミーティングや会議の場で確認する機会を持ちたい。
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>玄関すぐに、物干し場を設置。見守りのみで干しや取り込みをしていただける。ごみ置き場も一緒に掃除くださる。また、季節の花やトマト等を植えたので、水遣りや収穫もできるようになってきた。農業をしてきた方が入居され、ご家族も種を購入くださっている。</p>	○	至急道具をそろえて、畑作業ができるように準備する。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県. グループホーム ファミリー (2号館)

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

今まで多くの方やそのご家族にご利用いただきました。ホームも生き物のように、入居者さんやスタッフの顔ぶれで、随分変わることを実感しています。生活を支えることは、本当に十人十色です。基本を大事にしながらも、その時その時のご要望にお応えできるように努めていきたいです。また、すぐ近くに芝生広場があり気持ちよく歩くのに恵まれています。これも活かしていきたいと思っています。